

「N700系新幹線車両台車枠について」の一部訂正

2017年12月11日、東海道新幹線名古屋駅構内において発生しました西日本旅客鉄道株式会社様保有のN700系新幹線車両の重大インシデントにおいて、当社製の台車枠にき裂が発生し、日ごろ新幹線をご利用の皆様、西日本旅客鉄道株式会社様（以下、JR西日本様）、東海旅客鉄道株式会社様（以下、JR東海様）をはじめご関係の方々に、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを改めて深くお詫び申し上げます。

標記の件、2月28日に開示しました資料の記載内容に集計作業の誤りがありました。以下のとおり訂正しますのでお知らせいたします。

【訂正内容】

「2. き裂発生台車枠以外のN700系台車枠の調査」に記載の、側バリ下面の板厚が7mm未満の箇所が見つかったJR西日本様向け台車枠の数

〔訂正前〕

(1)側バリ下面の板厚については、き裂発生台車枠以外にも、JR西日本様で100台、JR東海様で46台、合計146台で7mm未満の箇所が見つかりました。

〔訂正後〕訂正箇所は下線部分となります。

(1)側バリ下面の板厚については、き裂発生台車枠以外にも、JR西日本様で 101 台、JR東海様で46台、合計 147 台で7mm未満の箇所が見つかりました。

なお、今回側バリ下面の板厚7mm未満であることが分かった1台は、2月28日の開示資料において「超音波探傷の結果、微細なきずの疑いのあるもの」として発表した22台に含まれているため、当社の交換台数に変更はありません。

以上